

**令和5年度(2023年度)  
函館市地域包括支援センター事業評価 結果概要(案)**

資料3

**1. 評価結果概要**

事業種別	市町村実施率			センター実施率		
	函館 (R5)	全国平均 (R5)	函館 (R4)	函館 (R5)	全国平均 (R5)	函館 (R4)
組織運営体制等	100.0%	85.6%	100.0%	99.5%	90.6%	100.0%
総合相談支援	100.0%	86.9%	100.0%	100.0%	92.7%	100.0%
権利擁護	100.0%	89.8%	100.0%	100.0%	92.3%	100.0%
包括的・継続的ケアマネジメント支援	83.3%	70.5%	83.3%	100.0%	85.0%	98.3%
地域ケア会議	92.3%	69.3%	92.3%	100.0%	86.2%	100.0%
介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	100.0%	71.7%	66.7%	100.0%	84.4%	80.0%
事業間連携（社会保障充実分）	100.0%	86.5%	80.0%	88.0%	89.0%	88.0%

**2. 事業種別ごとの特徴**

① 組織運営体制等

- ・市は、昨年度に引き続きすべての項目で「できている」の評価であった。
- ・1センターで、3職種の1名を準ずる者で配置していた。
- ハローワーク等で求人募集に努めている。

② 総合相談支援

- ・市および全センターは、昨年度に引き続きすべての項目で「できている」の評価であった。

③ 権利擁護

- ・市および全センターは、昨年度に引き続きすべての項目で「できている」の評価であった。

④ 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・市は昨年度と同様に、地域の介護支援専門員の実践力向上を図ることを目的とした、センター職員を対象とした研修会を開催することができなかった。
- センター職員を対象とした研修会を、地域包括支援センター連絡協議会と共催で令和5年度から開催していることから、今後は改善が見込まれる。
- ・昨年度は地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催できなかったセンターがあったが、今回は改善され、全センター、すべての項目で「できている」の評価であった。

⑤ 地域ケア会議

- ・市は昨年度と同様に、地域の医療・介護・福祉等の関係者に、策定した地域ケア会議の開催計画を周知をしていなかった。
- 本市では参集者を固定しておらず、随時参集者に周知することとしているため、今後も開催計画の作成と周知は必要がないものとしている。
- ・全センターは、昨年度に引き続きすべての項目で「できている」の評価であった。

⑥ 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

- ・昨年度は多様な地域の社会資源の情報の提供や、セルフマネジメントの推進にあたる動きができていなかったが、今回は改善され、市および全センター、すべての項目で「できている」の評価であった。

⑦ 事業間連携（社会保障充実分）

・市は昨年度、医療関係者とセンターの合同の事例検討会を開催することができなかったが、今回は改善され、すべての項目で「できている」の評価であった。

・昨年度と同様に、在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対し、相談実績がないセンターが1センターあった。

→医療・介護連携支援センターに相談を要する具体的な事例が発生しなかった。なお、部会等の場を活用し医療・介護連携支援センターの役割等を理解したり、ネットワーク強化を図っていることから、必要時には、気軽に相談できる体制にある。

・昨年度と同様に、認知症初期集中支援チームと、訪問支援対象者に関する情報共有を図れなかったセンターが5センターあった。

→認知症初期集中支援チームで対応する具体的な事例が発生しなかったことによるものであるが、センター職員はチーム員を兼任しており、必要時には対象者の情報共有ができる状況にある。

### 3. 事業評価結果の活用について

① 改善策の検討

・市とセンターとの会議の場において、市またはセンターが「できていない」と評価した項目について共有し、今後の改善策等の検討を行う。

② 地域包括支援センター運営協議会への報告と意見聴取

・運営協議会に評価結果を報告し、改善策等についての意見聴取を行う。

③ ①・②で検討した改善策等を取り組むことにより、センターの機能強化を図る。

→事業として改善を要するところについては、全て令和4年度中に改善が図られている。  
今後においても、この状態を継続していく必要がある。